

尚々遠国両度

御飛脚被下別而添

奉存候、両島御舟帰朝

御仕合能候へかしと奉存候、来年

御出御目見へ可被成候

事候、其節可得御意候、以上

又候哉、此度も御飛脚被遣

殊更權八郎方へ長崎

足袋廿足、拙者方へも

同足袋拾足被掛御意

忝奉存候

一 来年<sup>者</sup>貴様竹嶋之内

松嶋へ御舟御渡し被成付

当年より御支度之旨尤

存候、今度村川市兵衛殿

御当地へ被参候間、則

其段申談候、御仕合能

御舟帰朝之節貴様

御当地へ御越可被成

御目見へ候、来春<sup>者</sup>杯御

出<sup>者</sup>必御無用候

一 御不例付市兵

御目見へいた相済

不申候、永々御逗留付

彼仁被致難儀候、權八郎

隨分被入情候へとも

御不例付延引仕候

一 思召寄兩度迄御飛脚

被遣別而御心入と被存候

御參府之節面談<sup>二</sup>

御札可被申候へとも、我等方より

懇<sup>ニ</sup>御札申入候様<sup>ニ</sup>との

事候、我等儀も弥

息災奉公仕候、可安御

心候事候、面上<sup>ニ</sup>と

申残候、恐惶謹言

龜山庄左衛門

十月十八日

□□（花押）

大屋九右衛門様

御報